

子吉川と常願寺川の特徴



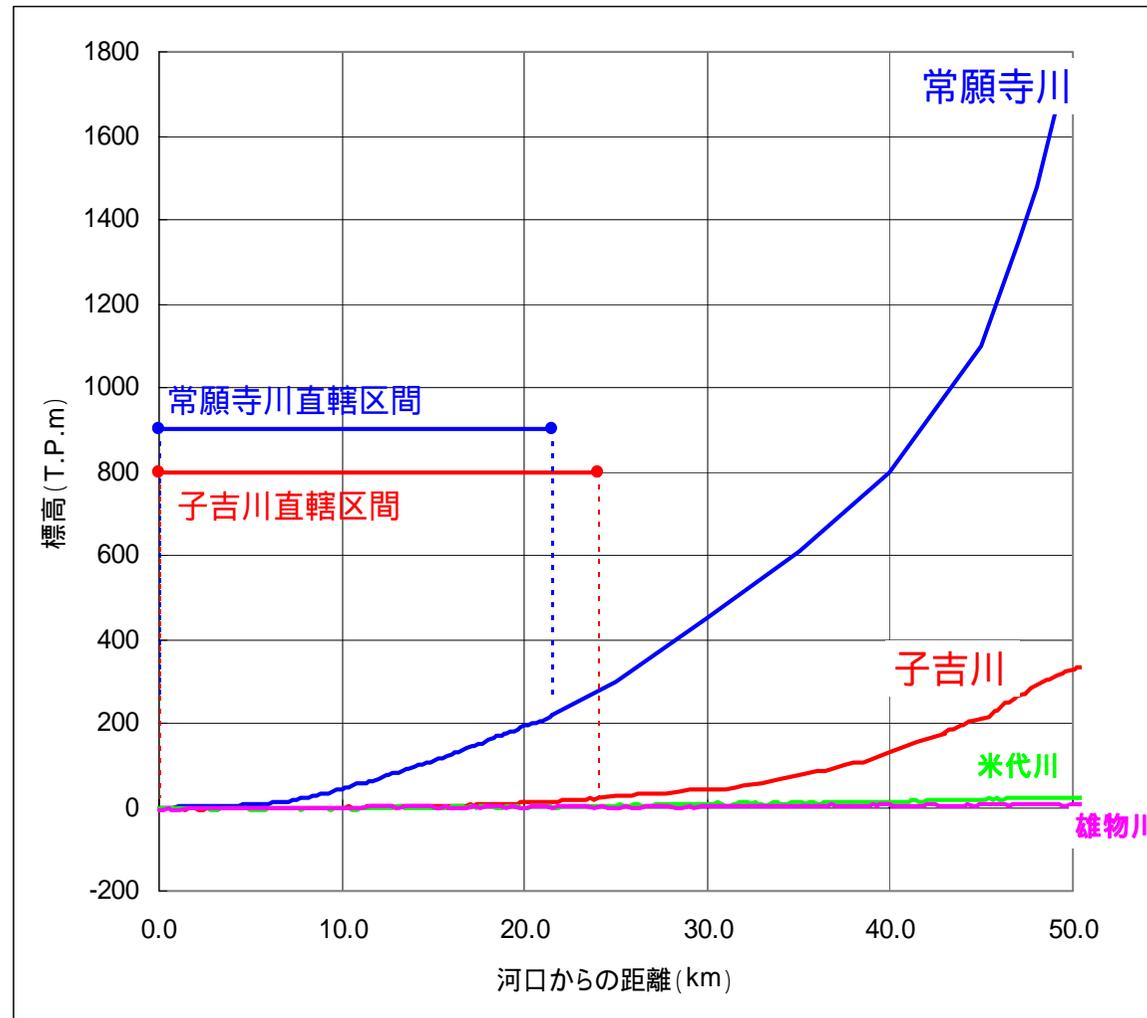
子吉川



常願寺川

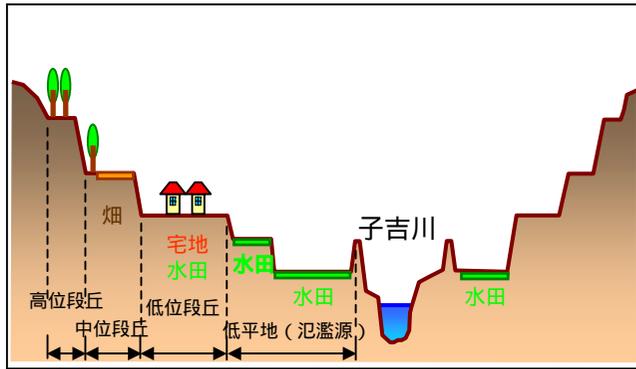
平成17年9月8日
国土交通省 東北地方整備局

子吉川と常願寺川の河床勾配



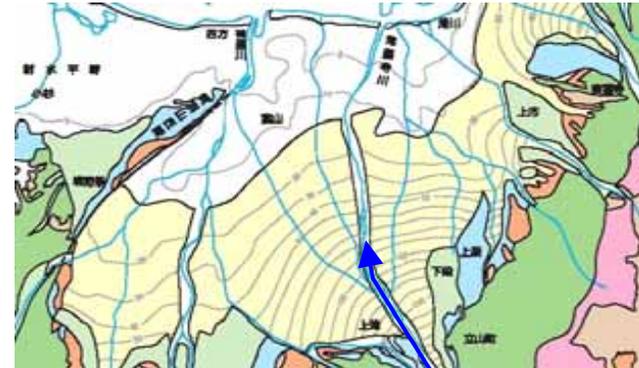
子吉川と常願寺川(中流部)

子吉川の段丘地形



子吉川 滝沢橋付近

常願寺川の扇状地



常願寺川 新常願寺橋付近

常願寺川の中流部は上流からの土砂供給が多く、流路が変化しやすい**扇状地**となっている。
子吉川は**河岸段丘**が発達し古くから農地と宅地に住み分けがされている。

子吉川と常願寺川(下流部)



子吉川 由利橋付近



常願寺川 常願寺橋付近

常願寺川は河口付近まで感潮区間が無い^{ため}砂州が発達し、河床材料は粒径が大きい。
子吉川は、河口から8k付近まで感潮区間^{になり}ており平常時の流れは穏やかで水位が安定しているため古くは舟運が発達し現在はボートなどの水面利用が盛ん。
また、河川沿川の土地は古くから宅地として利用されている。